

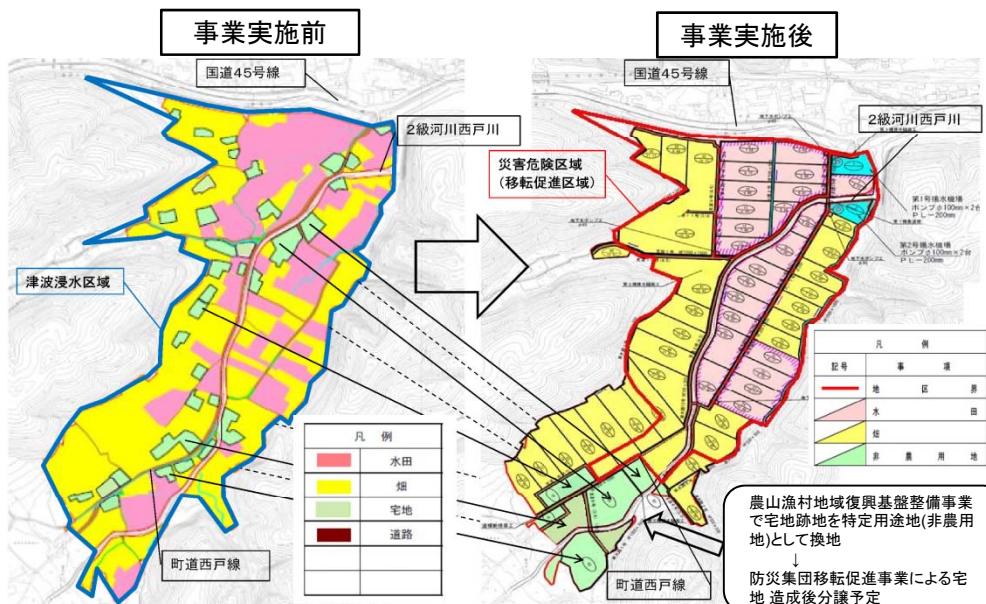
農業農村整備事業と防災集団移転促進事業に一体的に取り組んでいます。

MAFF

- 農業農村整備事業と防災集団移転促進事業の一体的な実施により、移転先の用地取得の手続きが不要となるケースがあるなど、事業期間が短縮。
- 両事業によって、農地を復旧、大区画化すると同時に、農地に囲まれた宅地を高台に集約することを7市町村で計画中。

宮城県南三陸町「西戸川工区」では、復興交付金を活用して「農地整備事業」と「防災集団移転促進事業」を一体的に実施し、住宅地の移転に必要な用地の創出や、移転跡地を含めた農地整備を行うことにより効率的な土地利用を実現。

一體的に実施することにより事業期間が短縮。(H27年度完了予定)



宮城県山元町では、復興交付金を活用し、利用集積による経営規模拡大や農地の大区画を図るとともに、道路や公共利用施設等の公共用地の創出や、集落跡地の利用等による効率的な土地利用の実現を図るための計画を策定中。



土地利用整序化のイメージ

水産加工団地の土地の嵩上げや、高度衛生管理に対応した荷さばき所の整備を進めています。

MAFF

- 高度衛生管理に対応した荷さばき所の整備については、平成26年度中の完成を目指しているところ。

石巻の被災状況

- 防波堤、岸壁、市場施設、水産加工団地等が壊滅。
- 約70cmの地盤沈下により、満潮時には、漁港及び水産加工団地へ海水が流入し、冠水する状況に。



復旧・復興に向けた取組み

これまでの取組み

岸壁・漁港施設用地の一部を嵩上げし、背後の水産加工団地への海水の流入を防止(23年末完了)。

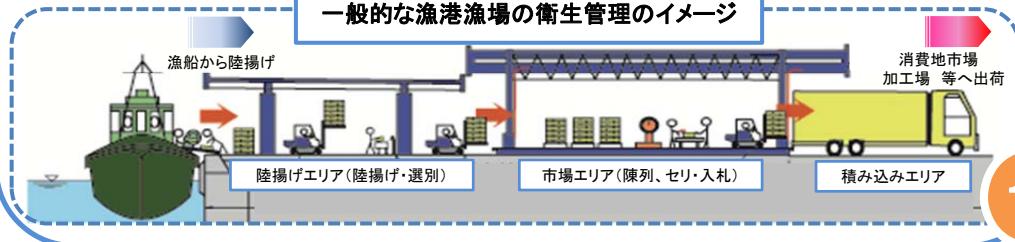


嵩上げした岸壁と
仮復旧した水産物
卸売市場

今後の取組み

- ① 24年4月より、岸壁・漁港施設用地の嵩上げと合わせ、背後の**水産加工団地の土地の嵩上げ工事を実施中。**
- ② **高度衛生管理に対応した荷さばき所の整備**について、平成24年度より測量・設計を開始。平成26年度中の完成を目指す。

一般的な漁港漁場の衛生管理のイメージ



「がんばる漁業・養殖業支援事業」を創設し、震災前以上の収益性の確保を目指す漁業者等の取組を支援しています。

MAFF

- 震災からの速やかな復興のため、「がんばる漁業・養殖業支援事業」を創設。
- 震災前以上の収益性の確保を目指す漁業者等の取組を支援。

【がんばる漁業復興支援事業】

【事業概要】

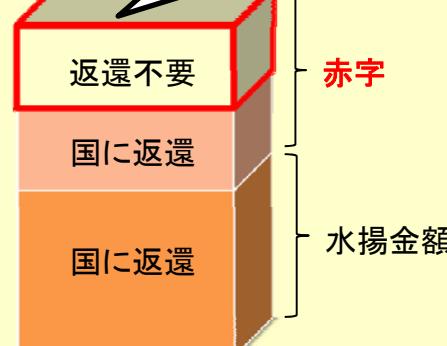
地域で策定した復興計画に基づき、震災後の環境に対応し、震災前以上の収益性の確保を目指し、安定的な水産物生産体制の構築に資する事業を行う漁協等に対し、必要な経費(人件費、燃油代、氷代等)を支援。

【事業のイメージ】

必要経費を支援



赤字の一部を
国が9/10～1/2負担



【がんばる養殖業復興支援事業】

【事業概要】

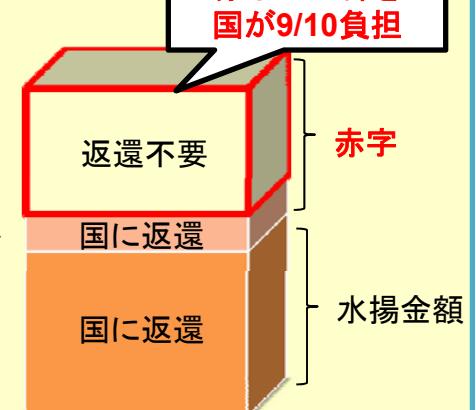
地域で策定した復興計画に基づき、養殖業の復興を推進するため、5年以内の自立を目標とした共同化による生産の早期再開に必要な経費(人件費、燃油代、氷代等)を支援。

【事業のイメージ】

必要経費を支援



赤字の一部を
国が9/10負担



【復興計画の認定状況】

- H25.6.3現在:認定100件(漁業:58隻及び17ヶ統、養殖:885経営体)
- 3月末時点での執行額:315億円